



2023年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エル・イー
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 CEO 小濱 直人
(コード番号：3686 東証スタンダード)

問 合 せ 先 執行役員 CFO 小澤 大輔

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月16日に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,900	40	40	10	0.24
今回修正予想(B)	1,900	△390	△390	△410	△9.66
増減額(B-A)	△1,000	△430	△430	△420	
増減率(%)	△34.5	—	—	—	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	1,640	△288	△287	△315	△7.44

2. 修正の理由

前回予想との乖離の主な要因を記載いたします。

IP・コンテンツ・ブランド関連においては、新規 IP 関連の映像制作受託が不振であったこと、海外セレブを活用する案件の多くが翌期にずれ込む見込みとなったこと、及び NFT 事業に関し暗号資産市場の混乱から事業開始が大幅に遅れたことなどから、売上高は前回予想数値と比較して、5 億円程度下回る見通しとなりました。

セールスプロモーション関連においては、異動、退職等に伴う新たな人材の採用に時間がかかったこと、継続的に受注していた大型案件が受注できない見込みとなったこと、及びマーケティング事業の収益化に時間を要したことなどから、売上高は前回予想数値と比較して、4 億円程度下回る見通しとなりました。

ゲーム・アプリ関連においては、既存ゲームの課金収入が想定には届かず、売上高は前回予想数値と比較して、若干下回る見通しとなりました。

その他においては、株式を取得した子会社が連結対象となる期間が、関係当局の承認に時間を要し短くなったことの影響などから、売上高は前回予想数値と比較して、1 億円程度下回る見通しとなりました。

販売費及び一般管理費においては、予算から大きく乖離する支出等はないものの、中長期成長に向けた新規事業に対する一定の開発支出は継続しており、減収の影響が非常に大きく、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想数値と比較して、大幅に下回る見通しとなりました。

(注) 予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上